



平成 28 年 4 月 15 日

九州地方整備局

緑川の堤防損傷箇所の緊急復旧について ～専門家のご意見を踏まえ工法を決定～

本日（4月15日）、熊本地方で発生した地震により被災した緑川の堤防調査を専門家に実施していただき、被災のメカニズムや対策工法等に対して技術的指導を踏まえ、緊急復旧工法を決定しました。

○専門家

九州大学大学院工学研究院

社会基盤部門 やすふく 安福 のりゆき 規之 教授 ※1
いしくら 石藏 りょうへい 良平 助教

名古屋工業大学

社会工学科 まえだ 前田 けんいち 健一 教授

国土交通省 国土技術政策総合研究所 河川研究部

河川研究室長 はっとり 服部 あつし 敦
河川研究室 主任研究官 もり 森 ひろとし 啓年

国立開発研究法人 土木研究所 地質・地盤研究グループ 土質・振動チーム

上席研究員 ささき 佐々木 てつや 哲也

主任研究員 いしはら 石原 まさのり 雅規

研究員 たにもと 谷本 しゅんすけ 俊輔

○専門家からの主なご意見を踏まえた、3カ所の緊急復旧概要は以下の通り。

- ① 緑川支川加勢川（9k800付近右岸/熊本市東区画図町大字下無田）
 - ・被害概要：市道を兼用している堤防に亀裂が発生
 - ・緊急復旧概要
亀裂範囲を網羅するよう、車道幅員まで置き換えて、堤防の川側を遮水シート+接続ブロックで保護する方法とする。
- ② 緑川本川（18k400付近左岸/熊本県上益城郡甲佐町田口地先）
 - ・被害概要：堤防天端及び堤防の川側法面に亀裂が発生
 - ・緊急復旧概要
堤防の川側法面の亀裂も考慮し、裏小段より上部を全て置き換え、堤防の川側を接続ブロック、堤防の民地側は張芝で保護する方法とする。なお、堤体材料が良質土であることから、置き換え土は現在の堤体材料を使用する。

③ 緑川本川（20k700付近左岸/熊本県上益城郡甲佐町津志田地先）

- ・被害概要： 堤防の民地側法面の崩壊
- ・緊急復旧概要

耐候性土嚢（3段積み）で堤防の民地側を押さえて、堤体形状を元形状に復旧させる方法とする。なお、同じ高さの大型土嚢は互いに連結させる。

※1 TEC-DOCTOR（テックドクター）

九州地方整備局が所管する管内の河川・道路・砂防等関係業務において、災害復旧等の技術的指導・助言を行う外部専門家（学識経験者）

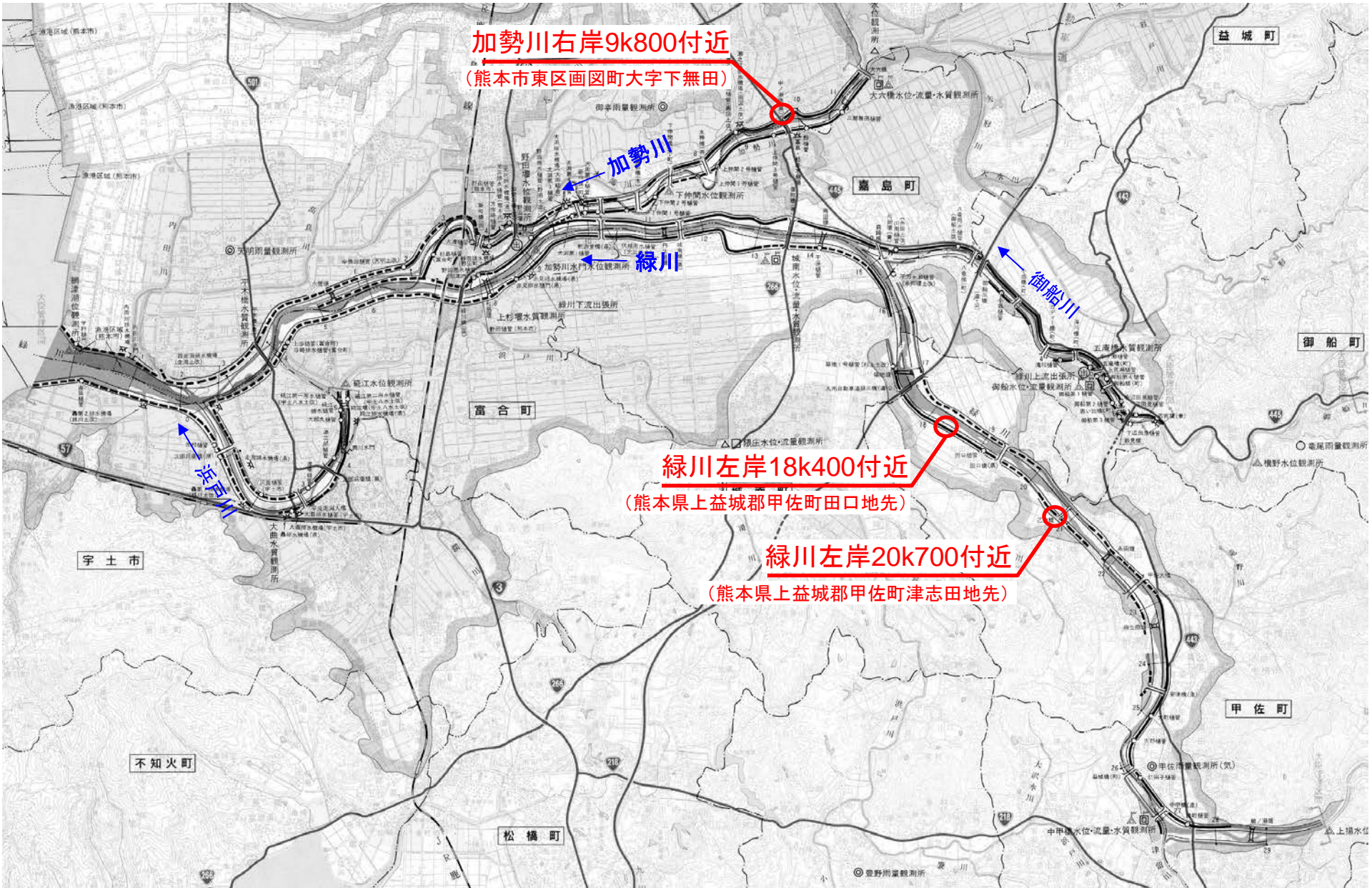
【問い合わせ先】

国土交通省 九州地方整備局 河川部

河川情報管理官 しまもと 島本 たくぞう 卓三

電話：092-414-7301（本部直通）

調査箇所 位置図



加勢川右岸9k800付近

(熊本市東区画図町大字下無田)

加勢川

緑川

浜戸川

御船川

緑川左岸18k400付近

(熊本県上益城郡甲佐町田口地先)

緑川左岸20k700付近

(熊本県上益城郡甲佐町津志田地先)

益城町

嘉島町

御船町

富合町

宇土市

不知火町

松橋町

甲佐町

調査状況

